

「秋の火災予防運動」 [11月9日～15日]

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時季に実施しているものです。

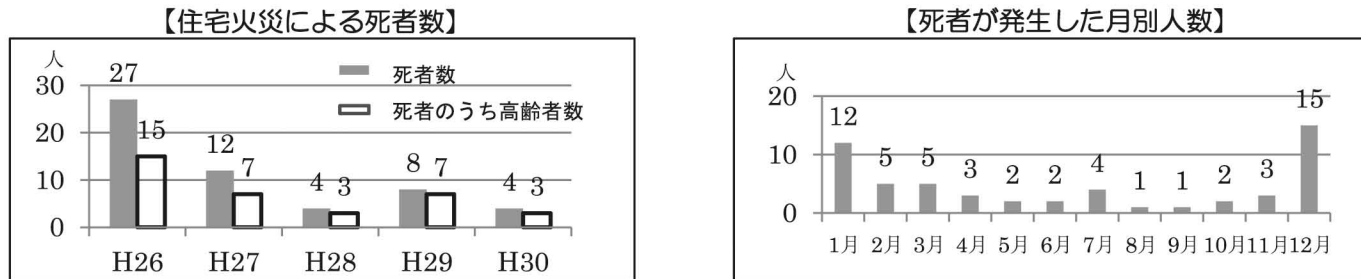


火気の手扱いに注意！

● 屋内での注意事項

広島市消防局管内における住宅火災による死者の半数以上が65歳以上の高齢者で、死者の発生は12月～1月が多くなっています。死者が発生した火災の原因や対策を知って、大切な命や財産を守りましょう。

1 住宅火災による死者数と月別発生人数（5年間）



2 主な火災原因と対策

ストーブによる火災

□ ストーブにもものが触れて火災になるのが特徴です。

- 寝るときはストーブの火を消す
- ストーブで洗濯物を乾かさない
- 給油はストーブの火を消してから行う

たばこによる火災

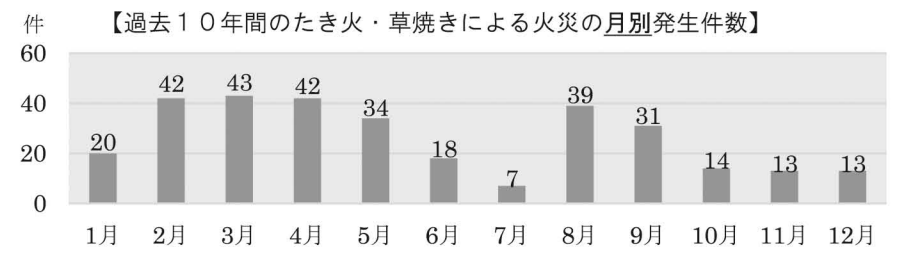
□ くすぶった状態が続いた後に火災になるのが特徴です。

- たばこは水に浸してから捨てる
- 灰皿にたばこの吸殻をためない
- 寝たばこは絶対にしない

● 屋外での注意事項

空気が乾燥した日や、風が強い日は、たき火などによる「屋外」での火災が発生しやすくなりますので、火気の手扱いには十分注意して下さい。

1 たき火火災の月別発生件数（過去10年間）



たき火火災発生件数
(令和元年8月末現在)

19件

2 「屋外」での火気の手扱い時における注意事項

- 乾燥注意報、強風注意報が出ている場合は、火気を取り扱わない。
- 火気を取り扱う場合は、消火器、水バケツなどの消火器具を準備する。
- 火気を取り扱う間は、その場所を離れない。残火を完全に消火する。



枯草、伐採した枝などをごみとして焼却することは、法令で禁止されていますので、ごみ袋に入れて可燃ごみとして出すようにしましょう。ごみの出し方など、詳しくは、次の部署にお問い合わせください。

環境局業務部業務第一課（082-504-2220）



2019年秋・冬
＜No.254＞

編集・発行
広島市危機管理室
TEL (082) 504-2664

地震への備えをしていますか？

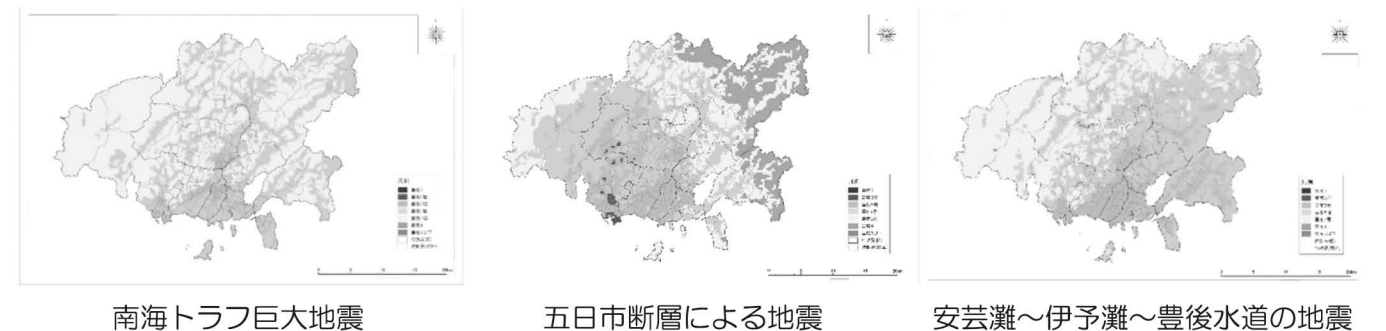
広島市では、南海トラフ巨大地震だけでなく、五日市断層による地震や安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震などの強い地震が想定されています。地震はいつ、どこで起きるか分かりません。自分を守るためにも、家族を守るためにも、今すぐ地震へ備えましょう。

地震ごとの震度について調べましょう！

広島市 揺れやすさマップ

広島市のHPで、想定される地震の種類ごとの揺れやすさについて確認することができます。平成25年度広島市地震被害想定調査において、想定地震の規模、震源からの距離、地盤条件等を基に250メートルメッシュごとの震度分布を想定したものです。広島市全域の震度分布・小学校区がご覧いただけます。

▼揺れやすさマップの例



想定される被害について調べましょう！

広島市地震被害想定

広島市では、国の南海トラフ巨大地震に係る検討状況等を踏まえ、広島県等関係機関とも連携を図りながら、本市域に甚大な影響を及ぼす可能性のある地震について被害を想定しました。各区ごとの人的・物的被害の推計や、液状化の危険度分布、土砂災害の危険度ランクなどを取りまとめています。広島市HPからダウンロードすることができます。

【リーフレット】広島市の地震被害想定

広島市の地震被害想定 (平成25年度)



広島市

今すぐしよう！地震への備え

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、大阪市北区や高槻市などで震度6弱を観測し、ブロック塀の倒壊や家具の転倒などにより死者が4名、負傷者も多数出ました。広島市でも強い地震が想定されています。自分を守るためにも、家族を守るためにも、今すぐ地震へ備えましょう。



事前の備えについて

<p>非常持ち出し品を準備する</p>	<p>避難場所を確認する</p>	<p>安否確認方法を決めておく</p>
<p>食料・水を備蓄する</p>	<p>簡易トイレを準備する</p>	<p>寝室に靴やメガネ、非常持ち出し品を置いておく</p>
<p>家具を固定し、重いものや割れ物は低いところへ</p>	<p>住宅を点検する</p>	<p>地震保険の加入を考える</p>

地震からの避難について

屋内にとどまるのが危険だと判断した場合は、非常持ち出し品を持って避難してください。避難の際には、瓦や看板などの落下物や、ブロック塀や自動販売機の倒壊に注意が必要です。隣近所に声をかけて一緒に避難しましょう。緊急車両の妨げになるので、車で避難しないようにしましょう。

大地震が発生した直後に多くの人が一斉に帰宅しようとする、路上や駅周辺で大混雑が発生します。建物が安全な場合はその場にとどまり、情報収集や安否確認を優先しましょう。

津波からの避難について

押し寄せてくる津波から命を守るには、逃げるしかありません。津波が襲ってくるスピードはとても速いため、海や川沿いで地震が起きたり、津波警報などが出たら、すぐに高台や津波に対応している指定緊急避難場所へ避難しましょう。

避難場所等への避難の途中で津波の危険が差し迫った場合は、浸水時緊急退避施設に避難しましょう。浸水時緊急退避施設には右のような標識がついています。

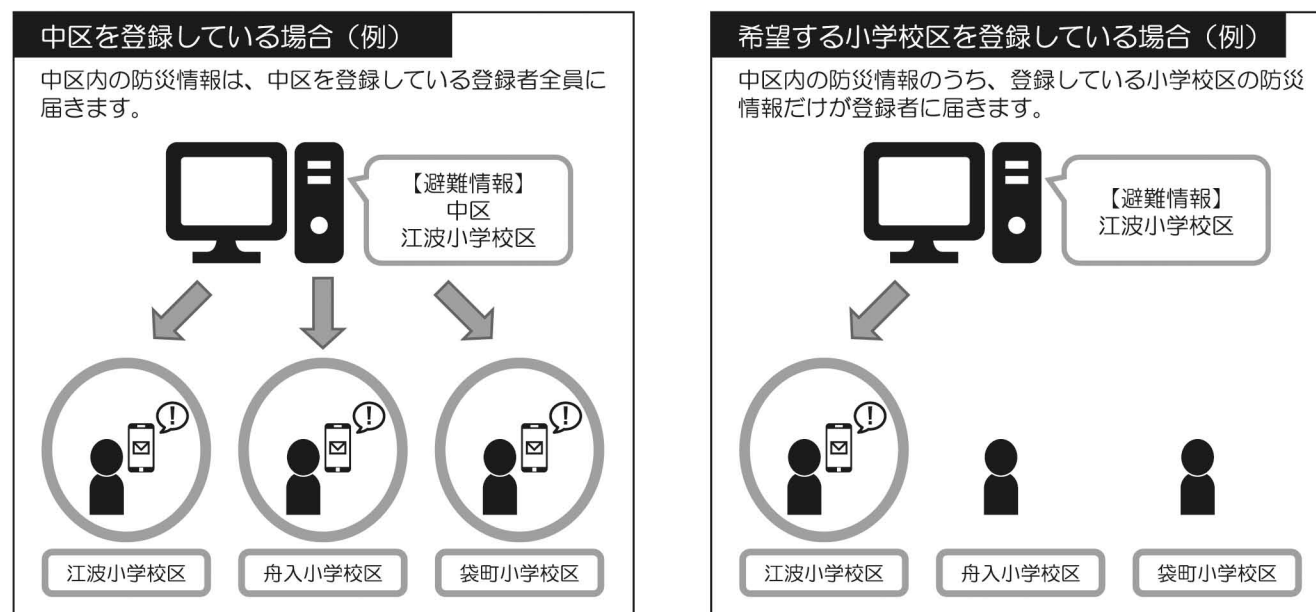
津波は繰り返し襲ってきます。初めの波より後の波の方が大きいこともあります。大津波警報や津波警報、津波注意報が解除されるまでは絶対に海や川沿いに近づかないでください。

広島市防災情報メールについて重要なお知らせ

防災情報メールの配信地区を小学校区単位で選べるようになりました

従来、広島市防災情報メールの配信地区は「行政区」での登録でしたが、この度、配信地区を細分化し「小学校区」での登録ができるようになりました。現在登録されている方で、小学校区での配信を希望される方は、配信地区の変更をお願いします。これまでどおり、行政区での配信を希望される方は、変更の必要ありません。

受信イメージ



メール配信地区の変更方法

- 1 受信している「info@k-bousai.city.hiroshima.jp」からのメールを開き、メールの下部にある登録内容変更画面に移動するリンクへアクセスします。登録用空メール(件名・本文不要)を送信しても変更ができます。新規登録もこちらから可能です。
(アドレス) entry@k-bousai.city.hiroshima.jp
右のQRコードからも登録内容変更画面へ移行できます。
- 2 「地区設定」を押してください。
- 3 「小学校区を選択」を押して、情報を受信したい小学校区を選択します(従来どおり、区全体を選ぶことも可能です。)
- 4 「変更」を押して、登録完了です。画面を閉じてください。



広島市防災情報メールとは…

登録されたメールアドレスに、広島市アドレス(送信専用アドレス)から次のような情報が届きます。

- 緊急情報…【警戒レベル4】避難指示(緊急)などの避難情報。大雨・暴風などの特別警報。
- 重要情報…災害や事件事故などに関する重要情報
- 災害対策本部等の設置・廃止
- 防犯情報…不審者や犯罪などに関する情報

情報の配信を希望する地区を選択して「次へ」を押してください。(複数選択可能)
全区の情報の配信を希望する場合は、すべての区を選択してください。

中区

 小学校区を選択

 東区

 小学校区を選択

変更画面イメージ